

報告書

第78回国民スポーツ大会冬季大会
スケート競技会・アイスホッケー競技会



可能性を自信に

「飛び立て未来の選手たち」



新たな光へ!

とまこまい国スポ2024

2024.1/27(土)-2/3(土)





国民スポーツ大会 マーク



昭和 22 年に国民スポーツ大会 (旧国民体育大会) のシンボルとして制定され、第 2 回大会から使用されることになりました。30度右傾斜した赤色の火炎を直径 10分の1の幅の紺青色の円帯で囲んであります。



スポーツを行う者の心得

「日本スポーツ協会スポーツ憲章」

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自ら属する団体の規則を尊重し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

テーマ

新たな光へ!
とまこまい国スポ2024

大会で勝利するという光もありますが、それ以外にも友情や技術力などいろいろな光があると考えていますし、この国民スポーツ大会で勝利する以外に得られる光も「新たな光」としてとらえることができるので、個人個人のまだ見ぬ光、「新たな光」に向かおうという思いが込められています。

スローガン

可能性を自信に
～飛び立て未来の選手たち～

地区大会でのしぎを削り、全国大会で自分たちの力を知り権利を得た選手たちが、いざ戦いに挑むとき、「自分の力を信じて、勇気をもって立ち向かってほしい」という国民のエールが届いてほしいという意味が込められています。

シンボルマーク



大会の種目であるアイスホッケーとスケートを連想させるデザインで、国民スポーツ大会のシンボルマークをアイスホッケーのパックに見立てられています。氷の青、情熱の赤、スピード感が表現されています。



第78回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会

報告書

目次

【開始式】

| | |
|----------------------|----|
| 競技会開始宣言、日本スポーツ協会あいさつ | 01 |
| スポーツ庁あいさつ、中央競技団体あいさつ | 02 |
| 歓迎のことば | 03 |
| 選手代表宣誓 | 03 |

【表彰式】

| | |
|------------|----|
| 中央競技団体あいさつ | 04 |
| 会場地あいさつ | 05 |
| 競技会終了宣言 | 05 |

【写真】

| | |
|------------------|----|
| 開始式 | 07 |
| 歓迎アトラクション | 08 |
| スピードスケート | 09 |
| ショートトラック | 11 |
| フィギュア | 13 |
| アイスホッケー | 15 |
| スケート競技会表彰式 | 17 |
| アイスホッケー競技会表彰式 | 18 |
| おもてなし等 | 19 |
| スナップ | 20 |
| 制作物等 | 21 |
| 競技会日程と会場一覧表、全国会議 | 25 |

【式典】

| | |
|---------------------|----|
| 式典次第 | 27 |
| 開始式・表彰式参加にあたっての留意事項 | 29 |
| 開始式会場図 | 31 |
| 開始式座席エリア図 | 33 |
| 表彰式座席図 | 34 |
| 開始式出演者一覧 | 35 |

【競技会場】

| | |
|-------------------|----|
| 会場案内図 | 37 |
| スピードスケート競技会場図 | 39 |
| ショートトラック競技会場図 | 40 |
| フィギュア競技会場図 | 41 |
| アイスホッケー競技会場図(3施設) | 43 |

【競技記録】

| | |
|--------------|----|
| 都道府県別総合成績一覧表 | 48 |
|--------------|----|

【スケート競技会】

| | |
|----------------------|----|
| スケート競技会総合成績一覧表 | 51 |
| スピードスケート競技日程 | 53 |
| スピードスケート競技入賞者 | 55 |
| スピードスケート競技リンクコンディション | 57 |
| ショートトラック競技日程 | 70 |
| ショートトラック競技入賞者 | 72 |
| フィギュア競技日程 | 73 |
| フィギュア競技入賞者 | 74 |

【アイスホッケー競技会】

| | |
|----------------------|----|
| アイスホッケー競技会総合成績一覧表 | 77 |
| アイスホッケー競技トーナメント表【成年】 | 78 |
| アイスホッケー競技得点表【成年】 | 79 |
| アイスホッケー競技順位一覧表【成年】 | 80 |
| アイスホッケー競技トーナメント表【少年】 | 81 |
| アイスホッケー競技得点表【少年】 | 82 |
| アイスホッケー競技順位一覧表【少年】 | 83 |

【役員】

| | |
|------------------|----|
| 招待者の範囲 | 85 |
| 大会役員 | 86 |
| 大会役員編成基準 | 90 |
| スケート競技会役員 | 91 |
| スケート競技会役員編成基準 | 92 |
| アイスホッケー競技会役員 | 93 |
| アイスホッケー競技会役員編成基準 | 94 |
| スピードスケート競技役員 | 95 |
| ショートトラック競技役員 | 96 |
| フィギュア競技役員 | 97 |
| アイスホッケー競技役員 | 98 |

【資料】

| | |
|-----------------------|-----|
| 都道府県別参加人員一覧表 | 101 |
| 大会参加者数 | 103 |
| 大会運営の基本方針 | 105 |
| 北海道実行委員会役員 | 106 |
| 北海道実行委員会会則 | 107 |
| 北海道実行委員会事務局規程 | 110 |
| 苫小牧市実行委員会役員 | 114 |
| 苫小牧市実行委員会会則 | 115 |
| 苫小牧市実行委員会事務局規則 | 121 |
| 標章及びマスコット等使用取扱規程 | 124 |
| 宿泊要項 | 128 |
| 宿泊実績一覧・斡旋弁当実績・支給弁当実績 | 129 |
| 輸送交通要項 | 130 |
| バス輸送実績 | 132 |
| 医療救護要項 | 133 |
| 医療救護実績 | 134 |
| 開催経過概要 | 135 |
| ホームページ・SNS・国スポチャンネル実績 | 138 |

競技会開始宣言

北海道知事 **鈴木直道**

開始宣言に先立ち、元日に発生した能登半島地震で、お亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

道では、胆振東部地震などの災害で全国から多大なる御支援をいただき、今日の北海道があるということを踏まえ、できる支援を最大限行っているところであります。皆様におかれましても、被災地への温かい御支援をお願い申し上げます。

第78回国民スポーツ大会冬季大会「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」に御参加の皆様、北海道へようこそ。道民を代表して、心から歓迎申し上げます。

「可能性を自信に～飛び立て未来の選手たち～」のスローガンのもと、全国から選ばれたアスリートの皆様をお迎えし、「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称が変わる記念すべき初めての大会を北海道で開催できることを大変誇らしく思います。

スポーツは、見る人に大きな活力を与える力を持っています。選手の皆様には、ふるさとの代表としての誇りを胸に、これまで磨き抜いてこられた技と力を存分に発揮され、被災地の方々をはじめ、全国の方々に夢や希望を与えてくれることを心から御期待申し上げます。

また、皆様には、この機会に、冬の北海道の美しい自然や豊かで美味しい食、縄文・アイヌ文化や世界遺産に登録された、北海道・北東北縄文遺跡群など、多彩な魅力にも触れていただきながら、記憶に残る大会としていただけると幸いです。

ここ北海道から、素晴らしい記録と感動的なドラマが生まれることを心から祈念し、「第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」の開始を宣言します。

日本スポーツ協会あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会会長 **遠藤利明**

はじめに、本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

豊かな自然に囲まれ、北海道内有数の港町、そして、産業都市として栄えているここ苫小牧市において、第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会、アイスホッケー競技会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

昭和21年から始まり、これまで数多くの歴史を紡いできた「国民体育大会」から名称を変更し、初めてとなる「国民スポーツ大会」は、新たなスポーツの未来へ向けて大きな一歩を踏み出す大会として開催いたします。

この度の、「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」の愛称は、大会をとおして友情や技術力などの「光」、即ち「スポーツの価値」を得て欲しい、との願いが込められています。

栄えある郷土の代表として参加される選手の皆さんには、フェアプレー精神のもと、日頃鍛えた「力と技」を存分に発揮し、スポーツの価値を改めて感じていただき、皆さんの活躍で、全国に元気と笑顔を届けていただくよう、切望いたします。

結びに、冬季大会の開催地選定が大変厳しい中、短期間の準備での開催をお引き受けくださいました北海道、ならびに苫小牧市はもとより、大会開催にあたり多大な御支援を賜りました、日本スポーツ振興センターやJKAをはじめとする多くの御関係の方々の御理解と御尽力に対しまして、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念申し上げます、あいさつといたします。

スポーツ庁あいさつ

スポーツ庁長官 室伏広治

式典

まず始めに、「令和6年能登半島地震」によってお亡くなりになられた方々に、深く哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げます。

また、被災者の救護と被災地の復興支援のために御尽力されている方々に深く敬意を表します。

第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会、並びにアイスホッケー競技会が開催されるにあたり、一言御挨拶申し上げます。

選手の皆さん、栄えある郷土の代表として、「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」に出場されますこと、誠におめでとうございます。

これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、本大会から将来、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しています。

1966年に全国で初めて「スポーツ都市宣言」を行ったここスポーツのまち苫小牧市において、国民スポーツ大会への名称変更後に初めて開催されることは大変意義深いことと考えます。

本大会のスローガンである「可能性を自信に～飛び立て未来の選手たち～」のもと、全国から集う選手たちが銀盤の上で、美しさ、速さ、強さを競い合うことで、国民に夢と感動を与えるとともに、ウィンタースポーツの魅力を全国に発信し、スケート競技・アイスホッケー競技の更なる発展に寄与するものと確信しております。

スポーツ庁としましては、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、大会開催にあたり御尽力いただきました地元北海道並びに苫小牧市をはじめ関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、挨拶といたします。

中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本アイスホッケー連盟専務理事 服部昌樹

この度は第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を北海道苫小牧市におかれまして開催頂き誠にありがとうございます。

また、開催におかれまして御尽力頂きました関係者の皆様にお礼申し上げます。

2024年の年明けから能登地方の震災・羽田空港での事故と大変な年明けになりました。震災及び事故に見舞われました皆様へ心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。

我々は震災及び事故に見舞われました皆様に少しでも元気になって頂く為にも今大会のスローガンでもあります<可能性を自信に>をモットーに都道府県の選手・関係者の元気な姿と結果を皆様にお届け出来る様に努めて参りたいと思っております。各競技での素晴らしい試合が見られます様願っております。

最後になりますが、本日より大会終了まで関係者の皆様におかれましては大変お疲れになると思いますが、お身体には十分お気をつけ頂きまして、大会が成功に終わる事を祈念しまして御挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば

北海道議会議長 富原 亮

全国各地から、御来道いただいた大勢の選手団の皆様、ようこそお越しくださいました。北海道議会を代表して、心から歓迎申し上げます。

新年早々、能登地方を震源とする地震、羽田空港における航空機の衝突事故など災害・事故が立て続けに発生いたしました。被災された地域の選手団の皆様やその関係者の皆様におかれましては、参加するにあたり、様々な御苦勞があったものと推察いたします。

無念にも尊い命を失われた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、北海道では5年ぶり、また苫小牧市では18年ぶりとなる本大会が、このように盛大に開催されますことを、大変嬉しく思っております。国内最大の冬季スポーツの祭典である本大会に、厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加される選手の皆様には、日々の練習で鍛えた技と力を存分に発揮され、輝かしい成果を収められますとともに、スポーツを通じた仲間との交流を大いに深められ、実り多き大会となることを期待しております。

また、来道していただきましたこの機会に、本道の豊かな自然や風土など、たくさんの魅力に触れていただき、地元の旬の味覚なども堪能していただければ幸いです。

結びとなりますが、本大会の開催に多大な御尽力をいただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘を心から祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

苫小牧市副市長 木村 淳

本来であれば、岩倉市長が出席して御挨拶申し上げますところですが、体調不良のため出席できませんので、代理として御挨拶いたします。

歓迎のことばに先立ちまして、このたびの能登半島地震により亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災され不自由な生活を余儀なくされている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

全国各地から多くの選手、役員、大会関係者の皆様をお迎えし、「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」のテーマのもと、「第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」が、ここ苫小牧市で盛大に開催されますことに、心から歓迎申し上げます。

本市での冬季国体は、平成18年の第61回大会以来18年ぶり、さらに「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へ名称が変わる第1回目の大会を開催できますことは、「氷都とまこまい」として、更なるスポーツの振興や地域の活性化につながるものであり、大きな成果となることを期待しているところでございます。参加される選手の皆様におかれましては、これまでの練習の成果を十分に発揮して、最後まで諦めることなく全力を尽くしていただきたいと思っております。

結びとなりますが、本大会開催にあたり、多方面に渡り御尽力を頂きました関係者の皆様に、心から敬意を表しますとともに、選手の皆様の御健闘と、大会の成功を御祈念いたしまして、歓迎のことばとさせていただきます。

選手代表宣誓

令和6年1月27日 北海道選手団 スピードスケート競技 宣誓者 森野 ころろ
旗手 ウイリアムソン レミ

宣誓。我々選手一同は、「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」において、「可能性を自信に」のスローガンのもと、支えて下さる多くの方々へ感謝の心を持ち、大会を見ている方々へ夢と感動を与えられるよう、自分自身の持ちうる最高のパフォーマンスを発揮します。

また、令和6年能登半島地震において、被害に遭われた方々へ心から哀悼の意を表しますとともに、今わたしたちができること、多くの仲間を信じ、元気と勇気を出して精一杯戦い抜くことを誓います。

表彰式

式典

スケート競技会 中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本スケート連盟専務理事 風谷 英隆

今大会から名称も新たに、第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会が、「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」をテーマに、また、「可能性を自信に～飛び立て未来の選手たち～」のスローガンのもと、全国から多くの若い選手たちが苫小牧の地に集い、成功裏に終了されましたことに心から感謝を申し上げます。

選手の皆さまには、ふるさとの代表として、5日間にわたり、自らの夢の実現に向け、熱い戦いを繰り広げていただきました。また、この機会に全国の仲間たちとの交流を深め、楽しく有意義な時間を過ごされたこととっております。

さて、私ども日本スケート連盟は、2029年に創立100周年を迎えるにあたり、「スケート王国、ニッポンの樹立」というビジョンを掲げ、より強く、より盛んで、より愛されるスケート競技の明るい未来の実現を目指し事業を進めているところです。競技力の向上、普及・振興に向け、スケートをする人、見る人、支える人の輪を大きくし、多くの方々にスケートを楽しんでいただくことで、人々に元気を与え、地域社会を活性化させ、豊かな社会づくりの推進に資するよう今後も努力を重ねてまいります。皆さまには、我が国スケート文化の一層の向上に向け、引き続きの御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました公益財団法人日本スポーツ協会、北海道、苫小牧市ならびに関係の皆さまに心から感謝を申し上げますとともに、選手の皆さまの今後益々の御活躍を祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

アイスホッケー競技会 中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本アイスホッケー連盟副会長 江守 秀次

皆さまお疲れ様です。この大会は、3年ぶりに行動制限のない国民スポーツ大会となりました。選手の皆さんが思う存分力を発揮し活躍できるよう、大会運営に取り組んで頂いた結果、無事に終了できましたことは本当に選手、チームスタッフはもちろんですが、第78回国民スポーツ大会冬季大会北海道実行委員会アイスホッケー競技会事務局の皆さま、並びに、日本スポーツ協会、文部科学省、北海道、苫小牧市、北海道アイスホッケー連盟、苫小牧アイスホッケー連盟、他関係者、すべての皆さまの努力の賜物だと思います。深く感謝申し上げます。

国民スポーツ大会は全国にアイスホッケーを普及し、全国でアイスホッケーを楽しむ方が目標とする大会であります。今日、ここに優秀な成績でお残りになられた方も、すでにお帰りになられたチームも含めて、地元に戻られましたらさらにアイスホッケーの普及に尽力していただきますよう、心から願うものであります。

本来、日本アイスホッケー界発展のためには、世界に通用する競技力の向上と各地域の環境に応じた競技の普及が求められていたと考えております。しかし現状は、競技環境に恵まれない地域は少子化による競技人口の減少とともに、また競技が盛んな地域でも経済の低迷が要因となり、予算の減額やスケートリンクの閉鎖が相次ぎ、社会問題となっております。このような状況を打破するには、日本アイスホッケー連盟が中心となり、前向きな取り組みを進めて参りたいと存じます。前向きな話し合いの中には、必ず、問題解決のための策が生み出されるものと思います。全国が協力できる事業プラン、将来プランを作成し、未来志向で考えをまとめてまいります。

最後になりますが、重ねて関係者、関係団体の皆さま、本当に神経を使った特別な大会をここまでやっていただきましたことに、改めて御礼を申し上げまして私のあいさつといたします。

スケート競技会 会場地あいさつ

1月31日に行われたスケート競技会表彰式の内容を掲載しています。

苫小牧市副市長 **木村 淳**

本来であれば、岩倉市長が出席して御挨拶申し上げるところですが、体調不良のため出席できませんので、代理として御挨拶いたします。

「第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会」の閉幕を迎えるにあたり、開催地を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

まずは、全国各地からお出でいただきました、選手、役員の皆様、4日間にわたり、大変お疲れさまでございました。先ほど表彰されました各選手団の皆様におかれましては、誠におめでとうございます。これまで積み重ねてこられました御努力に敬意を表しますとともに、心よりお祝いを申し上げます。日本スポーツ協会様、並びに昨年国体を開催された青森県様からの御助言と、選手、監督をはじめとする大会関係者の皆様、会場に足を運んでいただいた全ての皆様の御理解と御協力により、スケート競技会を無事終了できましたことに、深く感謝申し上げます。

今大会においては、国民体育大会から国民スポーツ大会に名称が変わる第1回目の大会であり、大会テーマを「新たな光へ!とまこまい国スポ2024」とし、選手の皆様におかれましては、個人個人のまだ見ぬ光、「新たな光」に向かい、競技に取り組まれてきたことと思います。

この国民スポーツ大会は、スポーツの普及と振興を図るとともに、地域社会の活性化や健康増進に資することを目的として開催されております。選手の皆様の熱意あふれる競技姿勢は、地域のスポーツ文化の発展に大きく貢献しているものと感じております。開催地といたしましても、関係団体、協力企業、地域の皆様と一体となって大会の準備、運営をしてまいりましたが、全国で初めて「スポーツ都市宣言」を行ったまちとして、スポーツを通じて健康でたくましい心と体をつくり、豊かで活気あふれるまちづくりにつなげてまいりたいと考えております。

結びに、本大会の開催にあたり、多大な御支援、御協力を賜りました多くの関係者の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、参加されました皆様の今後ますますの御活躍を祈念いたしまして、開催地を代表してのあいさつといたします。

スケート競技会 競技会終了宣言

北海道スポーツ協会会長 **荒川 裕生**

「可能性を自信に～飛び立て未来の選手たち～」のスローガンのもと、国民スポーツ大会に名称を改めて初めて開催された「新たな光へ!とまこまい国スポ2024」スケート競技会は、皆様の御協力のもと、本日、無事、全ての競技日程を終了いたしました。

各都道府県を代表する選手の皆様が、自らの限界に果敢に挑戦する姿は、多くの方々に勇気と感動を与え、スポーツの素晴らしさを伝えてくれました。

本競技会の開催に御尽力いただきました大会役員並びに関係者の皆様に、深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の今後益々の御活躍を心より祈念申し上げ、ここに、第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会の終了を宣言します。

アイスホッケー競技会 競技会終了宣言

北海道総合政策部知事室長 **中村 昌彦**

5日間にわたり開催されました「新たな光へ!とまこまい国スポ2024」アイスホッケー競技会は、本日無事に全ての日程を終了いたしました。

本大会は、「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称が変わり、初めて開催された記念すべき大会であり、選手の皆様が全力で競技に挑まれる姿は、多くの方々にスポーツの素晴らしさを伝えてくれました。改めて、参加をされた選手の皆様に敬意を表します。

大会役員をはじめとする関係の皆様には、大会の開催にあたり、多大なる御尽力をいただき心から感謝申し上げますとともに、選手の皆様の今後益々の御活躍を祈念申し上げまして、ここに、「第78回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会」の終了を宣言します。